



目次

再版の序

序

序章 共産党への提言

- 1 反平和手段主義を批判する……………五
- 2 平和革命は絶対不可能か……………一七

Ⅰ

ブルジョア・デモクラシーと政治暴力

- 1 暴力を暴力たらしめる条件……………三
- 2 自由の抑圧と政治的暴力……………一〇
- 3 ブルジョア・デモクラシーの理念と現実……………一四
- 4 ブルジョア・デモクラシーの推進者としての労働階級……………一七

Ⅱ

ブルジョア・デモクラシーの憲法と自由および暴力

- 1 憲法をめぐる争い……………一
- 2 憲法的自由の意義……………六
- 3 憲法における暴力と自由……………一六
- 4 暴力者としての支配階級……………二七

✓Ⅱ ブルジョア・デモクラシーの自由

- 1 ブロレタリアーとブルジョア・デモクラシーの自由……………七
- 2 ブルジョア・デモクラシーの自由の論理……………六七
- 3 ブルジョア・デモクラシーから
 ブロレタリア・デモクラシーへの転化……………九

✓Ⅳ ブロレタリアートと議会政治

- 1 美濃部達吉の時代……………一三
- 2 議会政治の危機……………一六
- 3 ブルジョア政治家たち……………一九
- 4 自由の抑圧と議会政治の形骸化……………二三
- 5 自由と暴力……………二〇
- 6 暴力革命主義と平和革命主義……………二六
- 7 日本の独立と自由の問題……………二四

Ⅴ 戦争否定の道徳と権力

- 1 《汝殺すべからず》という道徳規範と戦争……………一五
- 2 道徳と権力……………一八
- 3 社会主義の道徳と戦争……………二五
- 4 戦争と暴力革命の否定者……………二七

Ⅵ スターリン論文と両体制の共存にかんする諸問題

- 1 資本主義国家間の戦争の不可避性ということについて……………八一
- 2 両体制間の緊張とアメリカ帝国主義……………八五
- 3 平和主義と社会主義……………九三

〈補論〉

✓Ⅰ 階級・権力および国家について

- 1 社会階級および階級支配の諸問題……………一〇六
- 2 権力とその論理構造……………一三六
- 3 権力組織としての国家……………一四〇

Ⅱ デモクラシーと天皇制

- 1 プロローグ……………一七
- 2 天皇制と支配階級……………二六
- 3 天皇の権威と権力……………二九
- 4 天皇制の支柱……………三九